

## 同窓生プチ近況報告 (2021年4月~2022年3月)

- 1期 野澤 福代(大河内):色々病気も出ています。常に欠席としなければなりません。同窓会の発展をお祈り申し上げます。
- 3期 佐藤 靖子(首藤):長い間本当にありがとうございました。皆さんのお陰で卒後何十年もの間、松中の発展の様子を知ることが出来、嬉しゅうございました。老齢(87才)になり区切りを付けたいと思っておりまして、丁度良い機会でした。
- 武部 淑子(野村):昭和10年(1935年)3月生まれのは、86歳です。年々同期生の数も少なくなり、同期の集まりも昨年で終了しました。姉が開校時の社会科・荒木敦先生と結婚したため、松中には皆様と少し異なる感情を抱いておりました。あれもこれも、今となっては、良い思い出です。
- 4期 朝倉 和子(北岡):私ども4期は、令和1年まで有志15人ほどで、5月に集まっていた。コロナの為、昨年と今年は休会。間借りの松澤小から桜上水の新校舎へ引っ越した嬉しさ忘れられない。休み時間、男女一緒にソフトボールに夢中でした。
- 6期 鈴木 康夫:年が経つのが、恐ろしく早く感じられます。松中創立記念日、次回ありますか? FAX連絡いただければ幸いです。
- 高野 和子(林):83歳。毛筆筆耕の仕事は現在も続けています。御用がありましたらお電話ください。
- 7期 岸川 幸雄:私共3CのHR担当 木村チエ子先生が、烏山の老人ホームで元気に過されています。
- 松本 猛:毎年、4月中旬から5月中旬にかけて、富山県魚津市に蟹気楼撮影のため15年通っています。車中泊です。
- 8期 霧見 和子(永島):昔のお姫様の遊び道具ではありますが、はまぐり貝の内側に金を塗って「源氏物語」の絵などを描き、展覧会に出品したり売ったりしていますが、今年は中止になり、描きためています。
- 半田 敏雄:コロナ禍で、年4回開催していたミニ同期会も開催できず、淋しい限りですが、早期の収束を願っています。
- 向井 啓:81歳6ヶ月元気盛り盛りやっています。
- 村松 孝一:元気にしています。サイクリングを時々やっています。
- 9期 高崎 龍介:いろいろとお世話様で、ご苦労様です。とにかく、この団体は組織活動を継続させることが力になります。会長はじめ常任幹事会メンバーと新たに選任される評議員の方々のご活躍を期待し、ご支援申し上げます。
- 中島 秀男:昨年、とうとう80代に到達。一度冥途の世界を眺めて生還(65歳時心筋梗塞より生還?)。目下はお釣り人生、松中同窓生とは3~4人交流中。同窓会HP拝見、色々幹事皆様のご苦労も拝察、感心も。駒場高へ進学し色々な友とも出会い、サッカー、俳句、手品などもコロナ自粛しつつ、老春、謳歌中。
- 水野 重満:体力も落ち、病院がよいも増々大変です。
- 10期 小作 幸夫:同窓会と共に誕生し、順調に開催されてきた同期会。今年は共に傘寿を祝う筈でした。なのにコロナの為に叶わず会長として残念でなりません。が、我等10期同期会、コロナに打ち勝って必ず企画します。皆元気に会いましょう。
- 箕輪 慎:おかげさまで元気にしております。新型コロナウイルスで同期会等開催できず残念です。皆様益々の御健勝祈念します。
- 11期 大木 昭男:毎朝、1万2千歩を歩くことを目標にして、南浅川沿いを歩いて、陸南公園でのラジオ体操にも参加しています。健康第一です。
- 川上 勝子(川泉):いつも会報を送っていただきましてありがとうございます。遠いところに嫁いでしまい、世田谷まで2時間程かかります。懐かしさはあるのですが年齢も重ねましたので(78才)、これからますます歩くことはむずかしいと思います。
- 斎藤 努:大阪で地方自治の研究を続けています。
- 高瀬 セツ子(米谷):いつのまにか78歳になってしまいました。毎年届く同窓会会報紙を嬉しく読ませていただいています。
- 二階堂 守克:60歳で会社を定年後、義兄(神社の宮司)の勧めで神主の資格をとり、義兄の神社(宮城県登米市)で神主業をしており、17年経ちますが、1年のうち十数回、東京と宮城県を行ったり来たり的生活をしていますが、昨年はコロナ感染の影響で数回しか行けませんでした。今年はまだ行ってません。
- 前田 勝弘:コロナ禍倒産しない様必死です。幹事役いつも感謝致しております。
- 森井 仁:遠くに住んでおりますが、中学時代の思い出はまだまだはっきりとして居ります。松中の増々のご発展をお祈り申し上げます。 函館より
- 12期 池田 辰彦:12期生の池田です。自粛自粛の毎日。地元佐倉で行っている高齢者施設での「傾聴ボランティア」等全て活動休止。午前・午後30分ずつの散歩が日課です。「同窓会会報」毎回楽しみにしています。
- 梅本 俊秀:現在の仕事は警備員をしています。が、一般の身体障害者でもあります。透析を週に3回打っていますが、体調はいたって元気です。
- 岡部 勝彦:会長さんをはじめ幹事の皆様、いつも御苦労様です。「玉電松原物語」読みました。家が駅の近くでしたので、角の本屋さんやパン屋さん、ソバ屋さんには、よく行きました。
- 小川 正徳:昨年6月に神奈川県人となりました。
- 小野 勝昭:コロナ禍、17ヶ月巣ごもり生活を強いられています。趣味の山登りは続けていますが、体力が落ちているので、それなりのトレーニングは行っています。同窓の皆さんも元気にお過ごし下さい。
- 加島 妃呂子(田制):ニュージーランドは、お陰様でコロナ患者が皆無なので、国内は自由に行き来が出来ます。オリンピック、パラリンピックの成功を願って居ります。
- 木村 敏:いまだ現役、下北沢で頑張っております。同期生に会えないのが残念です。コロナウイルスの危機、一日も早く終息する事を願うばかりです。幹事の方々ご苦労様です。
- 久保田 節子(福島):55年つれそった主人が5月に亡くなり、廻りの身近な人が次々に。若い頃には長いと思っていた一生が、この年になるとなんと短い命なのかと、日時の過ぎるのが早く、少々あせっています。
- 斎藤 徹郎:組織改革されますこと、応援致します。次世代への継続をお願い致します。
- 武田 隆三:自粛生活の中で地域内での活動を続けています。
- 中井 詔太郎:77歳になりました。身体の具合が悪くなりましたが、天草にて鑑定評価の仕事を続けております。
- 13期 アダムスK 峰子(古賀):現在、姉はアメリカのフロリダで元気に暮しております。私は松中の18期卒業の古賀行雄、弟です。
- 倉本 泰治:健康の為、テニス・家庭菜園・ウォーキング・料理等、毎日の様に行っています。
- 菰田 豊:コロナの関係で成田空港での仕事が終了しました。
- 内藤 峯子(庄司):松中では楽しい中学生生活を送らせていただきました。13期は5回位、会を50代から開きましたが、それも良い思い出になっております。今も玉電は乗りたいですね。
- 塚本 眞:年相応の疾患がありますが、比較的元気にしています。
- 前山 道明:松中卒業以来、55年目に初めて13期の同窓会に参加したのは、もう6年前。再度開催を希望していましたが、コロナ禍で移動は困難になり、体力も集中力もなくなりつつの、令和3年の近況です。
- 山本 重行:コロナ禍の中、妻と里山ウォーキングをしております。ありがとうございます。皆様のご健勝ご多幸を祈ります。
- 14期 鴨志田 宏:週3日ですが、半分は現役です。
- 15期 飯田 敏夫:新型コロナウイルスの為、毎夏孫達と石垣島のウイクリーマンションを拠点に2週間ほどマリンスポーツを楽しんでいますが、2年連続中止せざるを得ない状況で残念です。マスク着用の毎日にも慣れましたが、早くこの状況が終息することを祈るばかりです。
- 佐藤 進:昨年からのコロナ禍で、仕事を持つ妻を車で朝夕送り迎えする事が、今の私の日課となっております。
- 白浜 雅昭:六本木で45年ライブハウスBe(ペー)を運営しておりますが、新型コロナウイルスの為、休業しております。
- 寺谷 悠二:ご苦労様です。コロナ禍の現状、変わりなく日々過ごしております。
- 16期 加藤 朋子(石毛):現在も、教師を続けております。コロナが、早く退散して欲しいですね。世の中が明るく平和になりますように。

## 同窓生プチ近況報告 (2021年4月~2022年3月)

- 時光 俊雄：ナンクロにはまり、毎日解いています。
- 吉岡 献太郎：卒業してから58年経ちました。60歳で沖電気を退職し、現在の会社へ移籍し、13年間(早いもので)経ちました。半導体は好況なので、幸いな事に未だ現役で働いております。これも松沢小学校、中学校とさまざまな環境で教育を受けた結果と感謝しております。
- 
- 17期 鈴木 美恵子：元気しております。週3回「カーブス」に通っております。
- 徳重 裕士：松原学園幼稚園の園長をして、毎日、子ども達と触れ合い、元気をもらっています。
- 
- 18期 塩原 信太郎：緊急事態宣言で東京の空は澄んできたのではないのでしょうか？ 前回の東京オリンピックの頃、3階校舎から富士山をながめたことを思い出しました。皆で甲州街道へ出て、マラソンを応援したことが懐かしいです。
- 
- 19期 伊藤 俊一：体力維持のために近所を散歩する以外は、家に居ることが多いです。
- 大島 正克：19期生は、コロナ前、宮城純子さんのジャズピアノライブに集まるのを楽しみにしていました。はやくコロナが終息して、またライブに行きたいです。楽しみにしています。
- 黒田 益夫：自分の知見経験を若い人に少しでも、と自己満足かもしれませんが仕事を続けていましたが、新型コロナもあり昨年9月でリタイヤしました。プライベートでは、できるだけ登りが少なく下りが多いコースを選び山歩きしています。現状で、出かけることが賛否ありますが、昨年は日光白根山、西吾妻山等の縦走をしました。「元気なだけが取柄」は維持しています。
- 小池 洋次：お世話になります。関西学院大学を定年退職し、現在、同大学フェローとして活動しています。
- 榊原 孝司：会報はホームページで拝見します。会費の請求連絡もメールでお知らせ下さい。(時期等忘れっぽくなっています。)
- 寺嶋 之朗(幸雄)：継続して仕事に毎日通っています。会報はメール添付でもHP掲載でも良い。HPアドレスを添付する方が良いでしょう。
- 福島 洋子：旅行など行けないので、近場で、四季の花を見て、写真に撮ったりしています。
- 間瀬 友典：自粛中に物の整理をはじめました。昔のことを憶い出します。
- 
- 20期 新井 秀雄：幹事のみなさんにはお世話になっています。50数年前へのタイムスリップを楽しみにしています。会報紙の編集、よろしくお祈りします。
- 池田 紹：年初にコロナ濃厚接触者になりましたがPCR陰性でした。コロナも怖い、ワクチンも怖い。
- 池田 宮子(鈴木)：いつも会報をなつかしく拝見しております。70歳を迎える歳になりましたが、それなりに元気で過しております。
- 佐々木 敦子(平野)：会報紙が届きます1年に1日だけ、非日常のなつかしい気分です。拝見しています。
- 進野 幸子(足立)：コロナ過でステイホーム、一年以上続けています。コロナの怖さを知らずに、一昨年94歳で旅立たせて頂いた母は、本当に幸福だったと感謝しています。(2021年6月1日)
- 高田 百合子(日置)：坪内祐三さんの「玉電松原物語」は、なつかしさでいっぱいでした。実は2軒隣りに住んでいたの、小学生のころの彼の元気に遊んでいた姿を思い出しました。
- 鶴巻 希一郎：相変らずの病気とケガとの戦いの日々です。
- 宮脇 豊：19期、20期の会費納入者が多いのは、20期の私としては誇りです。小野澤、松永、朝倉さんのお蔭です。古希これから昔の友人達との触れ合いが大切になると思います。少々大変とは思いますが、宜しくお願い申し上げます。私はまだ現役ですが、年を加える毎に忙しくなっている様です。正しくは、スピードについて行けなくなっているのではありません。
- 
- 21期 明石 博史：年初に「玉電松原物語」を読み、懐かしくなり、91のおふくろを連れ、40年ぶりに松原と下高井戸を散策して来ました。松中は昔の面影を残しており、懐かしい店も頑張っていてくれて、日大通りの賑わいも昔のままで、ほっと和む一日でした。
- 杉本 恭輔：思いっきりコロナにビビって暮しています。幹事の方もご自愛下さい。
- 
- 22期 石崎 芳行：福島浜通り地域の復興・町づくりに取組んでいます。(双葉郡楢葉町に単身赴任中)
- 成田 薫(岡本)：コロナの状況でなかなかお目にかかれませんが、相変わらず元気しております。クラスのラインがにぎやかで楽しみです。
- 埴 敏比古：松中3年F組のグループLineやっていますが、ほとんどの人が年会費を払っていません。払うよう勧奨します。
- 藤崎 英子(鶴田)：いつもお世話になってます。3人の孫育て(高3、高1、中1)も一段落し、主人もリタイヤして、もっぱらステイホームの毎日です。
- 
- 25期 伏屋 寿春(岩田)：17歳で名古屋に引越して、早や47年。いつもなつかしく中学生時代を思い出しながら読んでいます。標準服もとっても今風ですね。同窓会会報に携わる皆様、これからもよろしくお祈り致します。お疲れ様です。
- 
- 26期 石原坂 寿美江(佐藤)：「玉電松原物語」に感謝。思いがけない人と再会したり、連絡を取り合えることになり、繋がっていると実感。早く本を持って逢いに行きたいです。坪内さんに深く感謝。
- 古川 薫子(渡辺)：これまで送付ありがとうございました。小学校(松沢)から、ずっと越境通学でした。実家のある調布市も、通った小中学校のある世田谷区のどちらにも、根を生やしていない宙ぶらりんなる子供時代でしたが、この年齢になれば、やはり懐かしいものです。コロナでなかなか都心に行くことはできませんが、京王線の車窓から、また松中の校舎を眺める日が来ますように！ 皆さんもお元気です!!
- 
- 29期 高林 雄次：松中時代の友人の夢を見ました。コロナ前在住の宮城から上京し、青春時代を過ごした街を散歩し、45年前を振り返る大切な時間を過ごしました。年一回の会報がとても楽しみです。
- 森沢 裕 昨年、スポーツニッポン新聞社で定年を迎えましたが、現在はシニアスタッフとして、巨人担当カメラマンとして頑張っています。
- 
- 31期 西田 健太郎：昨年、単身赴任(広島)から東京に戻ってきました。
- 32期 斎藤 洋二：いつもありがとうございます。子供2人も松中卒、在の為、心を入れ換え、同窓会を盛り上げたいと思います。
- 
- 33期 石川 知之：いつも本当にありがとうございます。制服が変わったのですネ!? 松中といえば学ラン・・・残念です。世の中諸行無常、必要ならば生かされるし、必要なければ淘汰される・・・。必要とされる人間、会社でありたいと思います。
- 倉橋 茂子(佐藤)：コロナ禍の為、なかなか実家に帰れません。昨年より近くの熊野古道を主人と歩いています。山の中を歩いていると、季節の変化を感じられます。 ※坪内祐三さんの「玉電松原物語」、実家のお店(豊川そば店)や父の話が書かれていて、とてもおもしろく、なつかしかったです。坪内さんと知り合いなのです。よく出前に行きました。
- 松井 啓：最近外出が減り、マスクがわずらわしく、不要不急の外出はあまりしていません。趣味の英語教室やボウリングも何か月かしていません。
- 
- 34期 渡邊 直哉：松中で野球部、高校でも野球部として、この歳になっても、高校野球部のOBチームで野球を続けています。全国の高校野球部OBチームで組織する「マスターズ甲子園」トーナメントに参加して、甲子園を目指しています!! もちろん硬球です(笑)。
- 
- 37期 西澤 みどり：男子の制服が変わってしまってます。ポタンが作れなくなりましたのは時代の流れなんですね。
- 
- 45期 市川 徹：小野澤さん、小川さんからご紹介いただきました。普段は世田谷のまちづくりのお手伝いをやっています。(株)世田谷社
- 川口 彩(笹山)：湧水の豊かな東久留米で、育児に奮闘中です。実家も東久留米へ転居し、下高井戸に足を運ぶ機会がなくなってしまい、下高井戸が恋しいです。
- 
- 53期 松尾 未佳(高林)：中学校の教員をしております。十四年前に、松沢中で講師をしておりました。母校で1年間だけでしたが、勤務することができて良かったです。私が学生時代に教わった先生方も数名、いらっしやっただのがうれしかったです。
- 
- 58期 泉 陽介：おかげさまでコロナにも負けず、アメリカの投資会社でプイプイいわせております。後輩の方々も世界で活躍できるよう、勉学に励んでください。
- 
- 69期 河邑 結人：結人は北大3年生となり、北の大地での暮らしをコロナ過にも関わらず楽しんでます。